



● 初期消火技術大会に参加して ●

9月1日の防災の日に、若狭地区防火推進協会等が主催する、第27回初期消火技術大会が、小浜漁港用地で行われ、小浜西組町並み協議会（8名）が初めて参加しました。大会は、若狭4市町の23の事業所や団体から130名が参加、まず入場行進が行われ、当協議会の佐野達也さんが選手を代表して、「消火技術の向上と防災意識の高揚を目指します」と選手宣誓をしました。



団体バケツ消火の様子

競技は3種目あり、タイムと正確さを競うもので、小浜西組町並み協議会は、大健闘の結果、男子4人で行う「団体バケツ消火」の部で優秀賞、女子2人で行う「屋内消火栓」の部で入賞をしました。私も「屋内消火栓」の部（119番通報後、屋内消火栓ボックス内に収納されたホースを取り出し、放水を行う）に参加して、消防署員の方が見ているなか、緊張しながらもよい体験ができたと思っています。



参加者のみなさん

小浜西組町並み協議会副会長 石野幸子

* * * * * 小浜町並み協議会活性化部会 活動報告 * * * * *

活性化部会で灯籠50個はすでに製作しており、天神祭、庚申堂大祭をはじめ、大原区の正法寺の観音さん、浅間区の滝の不動さんのお祭りにも参道に置か

せていただきました。風情があって、行灯がとてもきれいだとお参りに来られた方の評判もたいへん良かったようです。さらに放生祭にあわせて70個を、飛鳥区の新美宅にて活性化部会のメンバーで製作し、合計120個が完成しました。放生祭には、八幡神社参道と小浜鹿島丹後街道沿いに全ての行灯を設置しました。



行灯製作作業の様子

＊布製わらじとぞうり展 (9/5～9/30)



布わらじ (棒振り用)

町並み保存資料館では、大原区が放生祭の出し物の大太鼓(棒振り)で使用する布わらじを展示しています。これらは4年程前から大原区の40～50代の女性が中心となって作っているものです。

布わらじは藁製のわらじより丈夫だということで、昭和33年の放生祭が始まった

当時から使用しているということです。大原区わらじ愛好会の方が作るまでは、区外の方に作ってもらっていたそうですが「われわれが作れば経費の節減にもなる」というのがきっかけで始まったそうです。布ぞうりを作るのにけっこうたくさんのお木綿の古い布が必要だということ(浴衣1着分で2足)また足をくぐる紐ひもを通す輪わ(ちちといいます)を作るのがとてもおもしろいことなど、わらじ愛好会の方といっしょに飾り付けをしながらお話をきくことができました。

他にも趣味で作った女性用、子供用の布ぞうり、アクセサリー用のミニぞうり、猿の人形等も展示してあります。特大(50センチ)の布わらじは「今回の展示会用に作ったもので、ご希望の方に売却いたします」ということですので興味のある方は町並み保存資料館までぜひ足を運んでください。



今回特別に作られた特大わらじ

小浜西組町並み協議会 第3回役員会報告

日 時：平成21年9月2日(水) 午後7時30分～9時30分

場 所：鹿島 町並み保存資料館

出席者：役員21名のうち、出席16名 委任状2名により、会が成立

1、開会の辞 会長挨拶

2、野村事務局長から報告

9月1日に「食文化館」前でおこなわれた「初期消火技術大会」に、当協議会から8名が参加し、優秀な成績をおさめた。今まで小浜地区の団体で参加した例が無く、消防署の方も喜んでいました。来年も是非参加してくださいとのことだった。

議長に村上理事が就き、議事進行。

3、市からの報告

(1) 景観形成助成事業の利用募集について

先日、景観形成助成事業の利用募集を案内した。今回は、道路に面する家屋等で修景整備を行われる工事費への助成である。受付締切日は9月30日(水)までであるため、ぜひ利用してほしい。

また、前回募集した防災に関する工事費利用件数は3件あった。8月31日で利用希望は締め切ったが、募集延期も考えているので、利用を検討してほしい。

(2) まちなみ保存整備チームとの意見交換について

今年、関係課でまちなみ保存整備チームを立ち上げた。重伝建事業を進めていく上で地元の取り組みをチーム員に知ってもらうため、役員の方と意見交換の機会を設定したい。

内容は、(1)各自自己紹介、(2)協議会のマスタープラン説明(プロモーションビデオ等も放映)、(3)市の重伝建事業の進捗状況説明、(4)マスタープラン等、様々な内容について意見交換を考えている。

(3) 勝山市の美しい奥越を創る会の視察研修対応について

公民館関係者やまちづくり関係者等といった主に市民の方で組織される勝山市の美しい奥越を創る会では、10月20日(火)に、伝統的建造物群を活かしたまちづくりの取り組みについてお話をうかがいたいとのことで、市に問い合わせがきている。住民主体の町並み保存活動についてもお話をうかがいたいとのことで、協議会にも対応をお願いしたい。

→当日、協議会から石田副会長、石野副会長、野村事務局長、佐野地域活性化部会長が対応していただくことになった。

4、議 題

(1) 重伝建地区視察研修旅行の件

澤口会長から、行き先などについて二案が出され、検討の結果、以下のように決定した。

日 程 11月15日(日)

旅行先 岐阜県美濃市 美濃地区(重伝建地区、美濃和紙の産地)

募集人数 40名(大型バス1台)

参加者会費 4,000円(協議会会計より85,000円支出)

9月25日の市広報などの配布日に、参加者募集のチラシを地区民に配布し、募集する。(募集のチラシは、広報の石野、岩崎が担当)

(2) 一門一灯運動経過報告(佐野活性化部会長から報告)

行灯(あんどん)50個をすでに製作し、現在、70個製作中、1個5,000円と見積もっていたが、3,800円で製作できる。したがって製作個数を増やしたい。

7月25日の浅間区の天神祭、26日の香取、飛鳥区の庚申祭には、沿道に50個おかせてもらい、祭りに興味(おもむき)を添えた。「風情(ふぜい)があってよい」との評判だった。放生祭(ほうぜまつり)には、120個置く予定である。

(3) 通り名称看板の件(佐野活性化部会長から報告)

現在、どのような看板を作るか検討しているが、一案として、西地区に9本立っているソーラーパネルの「後瀬山歴史街道」の案内看板を修正して、通り名称にしたらと考えている。「後瀬山歴史街道」と言うのは、現実には存在しないもので、キャッチフレーズとして作られたようだが、現在、その名称での事業展開はないし、丹後街道を後瀬山街道だと誤解されるという問題がある。そこで、教育委員会の許可を得て、通り名称の看板にしたい。

(4) 町並み協賛基金名称の件(澤口会長から報告)

前回の役員会で、基金の名称を「小浜西組町づくり協賛基金」とすることを決めたが、郵便局で口座を作るにあたって、「小浜西組町並み協議会」も入れるようにとのことだったので、口座名を「小浜西組町並み協議会町づくり基金」としたので、了解してもらいたい。

(5) 飛鳥区・新美氏宅整備経過報告(野村事務局長から報告)

色々な方の支援をいただきながら、整備している。順調に進めば、11月ごろから入居可能となるので、入居希望の方があつたら、知らせてほしい。

(6) 街路整備事業要望案作成委員会経過報告(石野副会長から報告)

作成委員会を2回開催した。主要道路の電線地中化、融雪装置、舗装のグレードアップの問題、小学校跡地利用の問題などを検討している。

9月28日(月)に、関西電力京都支店の電線地中化の担当者に来ていただき、現地での説明会を予定しているので、希望者は参加してほしい。

(7) その他

「市の景観形成助成事業にシロアリ駆除の費用も助成対象に入れてもらいたい」との意見があり、市長と夢トークで要望することにした。
